

磯城郡議員団だより

芝 和也 Eメール info@k-shiba.jp
川西町結崎 8 6 2 - 7 0745-43-2415
吉田 容工 Eメール katunori_yosida@ybb.ne.jp
田原本町大木 1 1 3 - 5 090-5257-4446
森 良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp
田原本町鍵 2 8 1 - 1 0744-33-8570
(事務局) 池田年夫 Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp
三宅町屏風 4 4 0 - 5 0745-43-2661

来年度軍事費5兆円超も

防衛省
自民国防部会などへ

防衛省は18日、自民党国防部会などの合同会議で、来年度軍事費の概算要求を提示しました。総額は4兆9650億円で、今年度の軍事費4兆8848億円を約800億円、比率で1・6%上回っています。日本の軍事大国化を志向する安倍政権発足以来、3年連続での軍拡を狙っています。

加えて、普天間基地（沖縄県宜野湾市）に代わる同県名護市辺野古への新基地建設や、岩国基地（山口県岩国市）への米空母艦載機移駐が強行された場合、米軍再編経費の増加も想定しています。この場合、軍事費が初めて5兆円を超える可能性もあります。

日本の軍事費は戦後、右肩上がりで見直しを続け、1990年代後半から5兆円規模を維持してきました。ただ、5兆円を超えたことはなく、防衛省によれば2002年度の4兆9557億円が最高です。

新たに導入する装備として、滑空型無人機や垂直離着陸機オスプレイ、水陸両用車などを挙げています。

防衛省はまた、14年版防衛白書の概要を提示しました。集団的自衛権の行使を容認する1日の「閣議決定」を踏まえ、海外での武力行使を可能にする「武力行使の新3要件」などが盛り込まれる

とみられます。

2014年7月19日(土)

マレーシア機撃墜
真相究明、挑発停止を
安保理緊急会合
欧米諸国が要求

【ワシントン＝島田峰隆】ウクライナ東部でのマレーシア航空機墜落を受けて18日に開かれた国連安全保障理事会の緊急会合で、欧米各国は親ロシア派に撃墜された可能性が高いと指摘し、国際社会が徹底した真相究明を行うよう求めました。また緊張緩和に向けてロシアに対し挑発をやめるよう促しました。

ロシアは反論

国連のフェルトマン事務次長は「信頼できそうな多くの報告は高性能な地对空ミサイルが使用されたことを示唆している」と指摘。「全面的で透明性のある国際調査」に向けて、国連専門機関の国際民間航空機関（ICAO）がウクライナ政府に調査チームの設置支援を申し出たことを明らかにしました。

米国のパワー国連大使は、マレーシア機が親ロシア派武装勢力によって発射された地对空ミサイルSA-11で撃墜された可能性があると表明。ミサイルの技術的な複雑さを考えると「ロシア要員の支援があったことを排除できない」と語り、現地調査の即時開始を求めました。

パワー氏は、ロシア、親ロシア派、ウクライナに即時停戦を促しました。またロシアによる武装勢力への支援を批判し、「ロシアがこの戦争を終わらせなければならぬ」と強調しました。

英国のライアルグラント国連大使も、親ロシア派勢力がロシアから武器提供を受けてきたとし、「どこに責任があるかは明白だ」と指摘。全面的な国際調査の実施とロシアに対し武装勢力の支援の停止を求めました。

ウクライナのセルゲイエフ国連大使は、親ロシア派がロシア軍から提供された地对空ミサイルを使って撃墜した証拠があると述べ、ロシアに挑発の停止を求めました。

一方、ロシアのチュルキン国連大使は「ICAOのもとに設置される調査委員会には適切だ」と発言。撃墜については「なぜ民間航空機が紛争地域の上空を飛んでいたのか。国は自国領空の安全監視の責

任がある。ウクライナの航空当局がその義務を果たしていたのか調査すべきだ」と反論し、ウクライナ政府の責任を問いました

2014年7月20日(日)

80億円9党“山分け”
政党助成金今年2回目

自民、公明、民主、維新、みんな、結い、生活、社民、新党改革の9党は18日、2014年の政党助成金（年総額320億1433万円）の第2回交付分として計80億358万円を受け取りました。（別表参照）

政党助成金の受領額(2014年2回目)	
自 民 党	39億 4591万円
民 主 党	16億 7322万円
日 本 維 新 の 会	8億 2372万円
公 明 党	6億 5000万円
み ん な の 党	5億 334万円
結 い の 党	8724万円
生 活 の 党	1億 8718万円
社 民 党	1億 28万円
新 党 改 革	2566万円
(千円以下は切り捨て、所属国会議員数順)	
日 本 共 産 党	政党助成金の廃止を求め受け取らず

与党の自民・公明両党は、「社会保障のため」「財政再建のため」といって4月に消費税大増税を強行した後に第1回分（4月18日）の政党助成金を手にしましたが、今回は集団的自衛権の行使容認の「閣議決定」の暴走を経て国民の税金を手にした形です。

日本維新の会は6月に橋下グループと、石原グループ（次世代の党）に解党することを決定しましたが、分党の手続きが終わっていないため従来どおりの受け取り額となりました。

政党助成金の原資は国民1人当たり250円の税金です。支持政党に関わりなく国民の税金を政党が山分けする政党助成金は、憲法が保障する思想・信条の自由に反する制度です。政党本来の財政は、国民一人ひとりの結びつきを通じて自主的につくられるべきです。

日本共産党は、一貫して政党助成金の廃止を主張し、請求も受け取りません。

2014年7月19日(土)

政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日 刊 ● 月 3497 円
日 曜 版 ● 月 823 円

ごみ中継施設の入札

ごみ中継施設を矢部に建設する動きがあることは「反対看板」で理解されておられる方もおられることでしょう。近隣住民の反対の声を無視して進められようとしています。

造成工事の入札は既に今月四日に実施され、仲谷組が約七千二百万円で落札されています。ただし、九月？に議会で承認されるまでは仮契約です。工期は、十一月から来年二月までの短期間です。ごみ中継施設建物自体の建設についても、八月二十五日入札が公告されています。工期は、造成工事が終わってから来年八月末までに完成させる超短期間です。一日五ト

ンのごみ进行处理するダストドラムを設置して総額八億円の予定価格が示されています。（先の六月議会で三億円増額されました。）設計業務の受託者は日産技研コンサルタントです。

そこで、同じ日産技研コンサルタントが設計した斑鳩町のごみ積替え施設と比べると大変高いことがうかがえます。斑鳩町のごみ積替え施設には、一日三〇トン処理できるダストドラムを設置して三億円弱で建設されました。三倍近い金額の理由はなんなん

んでしょ
うか？田
原本議会
議員
吉田容工



暮らしのアンケート(第1次集計)

暮らしのアンケート用紙をお配りし、記入してもらいました。

暮らし向きについては70%の方が「少し悪くなった」と回答。暮らし向きが悪くなった原因については「年金が減った」「税金の負担が増えた」「60%。医療・介護国保税の負担の増が65%となつています。」

石見駅の駅係員の無人化に対しては、「高齢化社会への対応として無人化は逆行している」「経営を考えて対策すること」「は企業の存続のため必要」というような意見や、「係員がいなくなつて安全面に不安」というような意見もあります。

駅前整備については「車の送迎ができるロータリー、コンビニ程度の商業施設」という要望

も出されています。

国道24号バイパス（京奈和道路下）の供用開始については「交通量の増加、騒音公害等が心配」「石見駅に行くのにバイパスができたかどうかになる心配」「建設前に住民に問うべし」という意見も寄せられています。

消費税の8%引き上げに対しては90%の方が「負担増を感じる」と回答。「制度の維持のためには必要」という意見もありますが、「食品や生活必需品には税率を下げるべき」「年金生活なので買物物を控えている」「衣服はあまり購入しな

が多い」という意見もありました。
三宅町
池田年夫



海の日、山の日

三連休は如何でしたか。『海の日』が国民の祝日に制定されて十四年になりますので、今年で十五回目と言う事です。から、高校生ぐらいから下の人

は、祝日の無かった七月を知らない世代と言う事になりますね。この『海の日』(〇三年から七月第三月曜)ですが、祝日制定前は一般にはそんなに知られていませんでしたよね。私は、議員になる前、農協の運輸課でトラック運転手をしていました。大阪湾沿いの港周辺の倉庫には、肥料等を取りに行く行つてたんです。その時に七月二十日の『海の日』の存在を知りました。この日は、港湾関係者の間では以前から休日になつ

ていたからです。

現在、国民の祝日は全部で十五日在りまして、二年後からは、八月十一日を『山の日』として祝日にする事が決まっています。から、通算十六日に。後、祝日が無い月は六月のみになりますね。

一般に、日本の労働時間は先進諸国の中では長く、様々な問題が生じているように長時間過密労働としてその改善が強く求められている事は皆さん承知の通りです。この事と全く関係は有りませんが、前述の国民の祝日の年間日数ですが、日本は先進国の中では最も少ないです。意外な一面ですね。

川西町議会議員
芝和也



孫の横顔

「ばーちゃん、祭りに行くねー」と田原本町の祇園まつりを楽しみにやつて来た県外に住む息子一家。

小二の孫娘には一カ月以上前から映画「アナと雪の女王」のドレスを作つてとの要望があつたので、祇園祭りまでには間に合

おしゃれな同色のベルトで締めれば中々可愛いドレスに仕上がりました。孫娘はとても気に入つて「祭りにも着て行きたい！」と言うほど。「汚れたら困るでしょう」と言うママの言葉でしぶしぶ断念したもの、祭りに行くと4歳の弟と共に金魚すくいや綿菓子などで楽しそうにはしゃいでいました。

そんな孫の横顔を見ていて後十五年もすればこの子達も二十代。特定秘密保護法、集団的自衛権が行使される世の中になれば孫たちはどんな人生を送るのだろうか？暗雲を払ってやれるのは私たち大人だけ

田原本議会議員
森良子

